

平成30年度 福祉行政機関新任職員研修 開催要領

【目 的】 福祉行政に新たに従事する職員が、社会福祉に関する基礎的な知識と技法を学ぶとともに福祉制度利用者への理解を深めることを目的とします。

【目 標】 (1)現在の社会福祉を取り巻く動向と課題を学ぶ。
(2)地域生活上の福祉諸制度や施策の課題と自らの職務との関連について理解する。
(3)相談援助（面接）を行するための知識・技術の基礎を習得する。

【主 催】 兵庫県社会福祉協議会 社会福祉研修所

【日 時】 平成30年5月10日（木） 10：00～17：30（受付9：30～）

【会 場】 兵庫県社会福祉研修所 地階大研修室 ※裏面、会場案内図参照

【受講対象】 県、市、町の福祉行政に従事している期間が1年未満の職員（神戸市・姫路市を除く）

【日 程 表】

時間	プログラム	内容
10:00	開講・オリエンテーション	
10:10	講義 「社会福祉の動向と課題」 関西福祉大学 社会福祉学部 教授 谷口 泰司 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の諸制度 ・現在の福祉行政を取り巻く動向と課題 ・課題解決に向けて福祉行政が果たすべき役割 ・福祉行政職員に求められる姿勢
12:10	昼食休憩	
13:10	講義 「当事者から見た地域生活支援について」 社会福祉法人西宮市社会福祉協議会 相談支援事業課相談総務係長 玉木 幸則 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者としての体験を通して、地域生活支援を考える ・地域生活上の福祉諸制度や施策の課題と自らの職務の関連
14:40	休憩	
14:55	講義・演習 「福祉相談の基礎『大切に聴く』ということ」 大阪保健福祉専門学校 講師 牧野 正等 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉相談における面接の重要性 ・相談援助（面接）の基礎的な知識と技法
17:25	アンケート記入	
17:30	閉講	

【講 師】

関西福祉大学 社会福祉学部 教授 谷口 泰司（たにぐち たいじ）氏

1985年京都大学経済学部卒業後、姫路市役所に入庁。同市では、保健福祉推進室及び介護保険課で介護保険制度の導入準備や介護保険制度開始時の制度運営に携わる。2002年障害福祉課へ異動し、支援費制度移行事務を担当。2004年には保健福祉政策課へ異動し、福祉計画の立案や施設整備を担当する。この間立命館大学大学院社会学研究科で修士課程を修了。現在、関西福祉大学社会福祉学部教授。専門領域は障害者福祉、高齢者福祉、福祉行財政。

社会福祉法人西宮市社会福祉協議会相談支援事業課相談総務係長 玉木 幸則（たまき ゆきのり）氏

1968年姫路市にて仮死状態で生まれる。4歳から肢体不自由児療育施設に入所。高等学校は養護学校へ。1991年日本福祉大学社会福祉学部Ⅱ部卒業後、知的障害者通所授産施設に勤務。1992年自立生活センター・メインストリーム協会事務局次長に就任以後、障害者の自立生活運動に力を注がれ、全国各地での講演会講師、福祉情報番組パーソナリティなど幅広く活躍。2012年9月末でメインストリーム協会を退職し、現在、厚生労働省相談支援従事者指導者研修に関わる検討委員会委員、内閣府障害者政策委員会委員、兵庫県障害福祉審議会委員、兵庫県障害者自立支援連絡協議会相談支援部会長等を務める。社会福祉士。

大阪保健福祉専門学校 講師 牧野 正等（まきの まさとう）氏

1971年佛教大学卒業後、川西市役所に入庁。2002年6月までの31年間、福祉事務所、養護老人ホーム、保健福祉部局で勤務の後、大阪保健福祉専門学校、京都医療福祉専門学校、流通科学大学等の教員・講師として、心理カウンセラー基礎、カウンセリング演習、公的扶助論等の講義を担当。また、対人援助の現場の実態に即した『傾聴』をテーマとする行政・社協・福祉関係団体等への出講多数。全日本カウンセリング協議会認定カウンセラー、元臨床心理士。

